

2026 年重点方針

◎2026 年度スローガン

深みを極め、高みをめざす
～仲間を増やし学びの幅を広げよう～

◎2026 年重点方針

▶企業づくり

- 私たち会員はいかなる時代においても、経営者としての矜持を胸に、同友会らしい企業づくり(経営指針の確立、人を生かす経営、人間尊重経営、21 世紀型中小企業)を進め、新たな飛躍を実現しよう。
- 中小企業は地域のインフラ。雇用と地域社会を守り、次代に継承できる企業体質の強化をめざそう。
- 2026 年 7 月の第 58 回中同協定時総会にむけて、日本一の深みを極め日本一の高みをめざし、中同協定時総会議案(企業・地域・同友会づくりの羅針盤)を学び、自社に落とし込もう

▶地域づくり

- 行政機関、金融機関、教育機関、諸関係機関との連携・交流を推進させ、生きた会員の声を届け、中小企業・小規模企業の経営環境の改善を推進します。
- 中小企業憲章、中小企業振興基本条例に関わる会員を増やし、調査活動の充実を通して政策的要望を届け、企業経営の改善に活用

▶同友会づくり

- 「誘ってよかった」「入って、続けてよかった」と実感する会員を増やし、すべての支部で会員が増え、早期に県下会員 1200 名を突破し、対企業組織率 3%超の 1500 名組織にむけた組織づくりを創造します。
- 経営課題解決にむけた専門委員会・部会活動の充実を図り、多くの会員の関心が高まる活動を展開します。
- 静岡同友会設立 52 年。先人の会員が築いた同友会理念を継承し、会員と地域社会からの期待の高まりに応えていくため、組織変革に挑戦し、会員の総意を得て 2027 年 5 月県定時総会にて一般社団法人静岡県中小企業家同友会(仮称)設立をめざします(※)。

(※) 静岡同友会が一般社団法人設立をめざす目的(共通認識)

- ①地域社会からの期待の高まりに応え、公益性・共益性・社会性の高い活動を推進するため
- ②会の資産を保全し、資産の所有、契約行為を可能とし、契約主体を明確にするため
- ③同友会はひとつの組織であり、その運営をより円滑におこなうため